

【一般選抜 B 日程 薬学部の問題】出題意図と評価の観点

◆ 出題意図

本問は、現代社会における薬剤師の役割とコミュニケーション能力の重要性について考察する力を測るものである。特にコロナ禍や SNS 時代という新たな社会環境の中で、若者の市販薬過剰摂取といった現代的問題に対して、薬の専門家としてどのように向き合うべきかという視点からの思考力を問うている。薬剤師という専門職の社会的役割の変化と、患者との効果的なコミュニケーションの重要性について、受験生の理解度と思考力を評価する。

◆ 評価の観点

- 「薬剤師」とは、単なる「薬の調剤者」ではなく、「患者の命と健康を守る医療人」であり、「患者とのコミュニケーション」の重要性について考え、言葉選びや接し方、責任や役割を理解しているか。
- 「市販薬の過剰摂取」という社会問題について、その背景要因（精神的孤独、SNS の影響など）を多角的に分析できているか。
- 「ゲートキーパー」としての薬剤師の役割について、具体的に薬物乱用防止教育、啓発活動などと結びつけて説明できているか。
- 「チーム医療」における薬剤師の位置づけと、他の医療従事者との信頼関係構築の意義が把握できているか。

◆ 問 1 に対する評価ポイント

現代社会における薬剤師が果たすべき役割について、医療の専門家としての知識・技能の側面と、患者とのコミュニケーションの側面から総合的に論じられているか。特に「チーム医療の一員」「薬の専門家」「医療人としての使命感」という複数の視点から役割を考察し、高齢社会における情報提供の重要性にも言及できているかを評価する。

◆ 問 2 に対する評価ポイント

若者が市販薬過剰摂取を SNS 上に投稿する背景要因について、心理的・社会的側面から何がそうさせているのか。また、ゲートキーパーとしての薬剤師がどのように若者と関わっていくべきかについて、具体的な対策や関わり方を提案できているかを評価する。単なる知識の提供にとどまらず、若者の心理に寄り添った対応策を論じられているかが重要である。

◆ 受験生へのメッセージ

本問では、薬学を志す皆さんに「医療人」としての視点と現代社会が抱える問題への洞察力を問うています。薬剤師は単に薬を調剤するだけでなく、患者の心身の健康を総合的に支える存在です。特に問 2 では、現代社会の若者が抱える問題と薬剤師の関わり方について考えることが求められています。

薬学を学ぶ上での基礎知識だけでなく、社会の動向を知り、相手の立場に立ち、わかりやすく情報を伝えるコミュニケーション能力を養うことも大切です。日頃から医療や健康に関するニュースに関心を持ち、「なぜそのような問題が起きているのか」「専門家としてどう関わるべきか」という視点で考える習慣をつけてください。